

年度末報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2022年 05月 12日
- 事業名 : 希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が、設立計画を具体的に立案する	事業計画、資金計画 (または進捗状況)	最終目標はホスピス設置だが事業フェーズによってはそれ以前の目標となる	事業期間 終了時	各団体が事業計画・資金計画を策定し実践する中で、実情に即した見直しを検討している。(例:北海道は予定より早く仮の拠点で利用者受け入れを始める、など)	2
1-2) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行	個人、企業からの協力 (人的・資金的)	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	休眠預金事業を展開することで、メディア、個	2

<p>団体が人材（就労者、ボランティア、協力企業など）を確保する</p>				<p>人・企業などに活動の具体例を示しアピールすることが出来るようになり、地元銀行や企業も含め関心が高まっている（協力・支援の可能性のヒヤリング機会、ボランティアに関する問合せなど）。活動が活発化するにつれ、事務局人材を雇用することも検討事項に入ってきている。一方で、ボランティアについては、コロナ禍もあり、制限せざるを得ない実情がある。</p>	
<p>1-3)資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が必要な資金源を確保する</p>	<p>資金源の数、額</p>	<p>事業開始時よりも増えている</p>	<p>事業期間 終了時</p>	<p>資金的支援により連携医療施設や支援団体への配布資料（パンフレット）提供をし、潜在的支援者の確保に努めている。さらに、福岡・東</p>	<p>2</p>

				京では地域支援者（店舗など）の募金箱設置数が大幅に増加。また、活動がメディアに取り上げられることで支援者数も金額も増加している。	
2-1) 資金分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが人材（就労者、ボランティア、協力企業など）を確保する	個人、企業からの協力（人的・資金的）	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	横浜では、地域に開かれた施設となるべく、地域連携・交流を積極的に展開（見学会、地域イベントなど）。こうしたイベントを通してボランティア登録者（裁縫、ハウスキーピング、ガーデン、翻訳、イベント、広報など）を増やすと共に、ボランティアの活用機会も増やしている。また、見学やイベントを通して、協力企業も数、支援形態（人的、物的、資金的、その	2

				他イベント企画など)も多様化し増えている。奈良では、地元の大学生ボランティアが参加してイベントを実施。	
2-2) 分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが必要な資金源を確保する	資金源の数、額	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	事業開始時よりも、個人・団体の会員数、寄付金額が増加している。	2
3) 資金分配団体の資金的支援を通して実行団体が難病児支援を行っている関連団体と情報共有をし、支援の幅を広げられるような連携強化の基盤を作る(支援団体や活動内容の情報集約やネットワーク形成)	①資源・ステークホルダーに係るエコマップ等の内容 ② 連携の事例	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	ネットワーク形成に向けた計画的な活動(エコマップの作成など)が実施されてはいないが、広報啓発イベントで他の支援団体との共催、コラボ企画などは積極的に行われている。(例:北海道キャンプ=NPO 法人かのあ協力、福岡チャリティイベント=がんのこどもを守る会共催、横浜地域交流=NPO 法人	2

				あっちこっちコラボ、 奈良レスパイトタウン イベント=任意団代ぎ たまちコンセントと有 志との共同企画など)	
--	--	--	--	--	--

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの意義や役割の理解促進につながるシンポジウムなどの開催	① シンポジウムなどの開催回数、参加者数	① 増加している	事業期間 終了時	2022年2月14日に実行団体（横浜こどもホスピスプロジェクト）と共催で、全国こどもホスピスサミットを開催。（参加者305名）	2
	②開催後の意識調査	②意識調査で理解や関心の向上が認められる	事業期間 終了時	サミット参加者アンケートから、参加したことによる理解・関心の向上が認められた。	2
	③こどもホスピス設立に関心を示す個人・団体数	③こどもホスピス設立などに関する問い合わせや意識が高まっている	事業期間 終了時	こどもホスピスを設立したい個人・団体から設立に関する問合せや横浜視察依頼があった。（千葉県、愛知県、町田市、沖縄県）。また、サミット後に3月のセミナーにも申し	2

				込む参加者もあり、関心の向上が認められた。	
1-2) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの研修機会の提供	① 勉強会などの開催回数、参加者数、参加者層	① 増加している	事業期間 終了時	2022年3月25日、26日に、実行団体(東京こどもホスピスプロジェクト)と共催でこどもホスピス・小児緩和ケアセミナーをオンライン開催(参加者63名)。サミット参加者が申し込むケースも見られ、東京都以外にも、全国からの申し込みがあった。(神奈川、千葉、北海道、埼玉、静岡、福岡、愛知、沖縄)	2
	② 意識調査	② 意欲向上、満足度が確認できる	事業期間 終了時	参加したことによる理解・関心の向上が認められた。	2
	③ テキストなどの教材の作成、配布(数、利用状況)	③ 配布数や配布先が広がり、満足度が確認できる	事業期間 終了時	今年度は実施していない。	2

1-3) 資金分配団体が主体となり、実行団体の実践力の基盤強化のための研修機会の提供	④ 実行団体からのポジティブなフィードバック	④ 研修の成果を事業に生かせたという肯定的な感想が聞かれる。	事業期間 終了時	前半の会計研修、評価研修に加え、後半は会計新様式に関する個別説明を実施。特にフィードバックは得ていないが、実行団体は適切な運用が出来ており、FDO・実行団体間で不明点などは迅速に確認し合える関係ができています。	2
2-1) 資金分配団体が主体となり、設立準備活動の効率化を目指し、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体間で情報共有ネットワークを形成	①定期勉強会などの開催数、参加者数	⑤ ①開催数が増加する	事業期間 終了時	実行団体協議会を開催 10月18日、12月22日(キャンセル)、1月12日	2
	②相互研修や視察の機会(数、種類、参加者数)	⑥ ②研修や視察の機会が増加する	事業期間 終了時	協議会などで情報共有も高まり、横浜こどもホスピスを実行団体(東京、福岡)が視察。北海道、奈良はコロナ禍の影響で次年度に延期。	2

	② ネットワークでの情報共有の満足度	③実行団体に対する連携に関する意識が高まっている	事業期間 終了時	実行団体協議会は合計3回開催したが、実行団体から開催頻度をあげる提案があり、こどもホスピスの理解促進（シンポジウムなど）や定義作りなど、より深い議論をしていく予定。	2
2-2) 資金分配団体が主体となり、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体が協力して共通の声として広報・資金調達活動を行う基盤ができる	①共通課題やニーズの把握・共有（課題認識、調査）	①共通課題に応じて、連携して広報・資金調達などを行った実績が出来ている。	事業期間 終了時	現時点では、調査などは行っていない。	2
	②協力して行う広報・資金調達活動の内容	②共通課題に応じて、連携して広報・資金調達などを行った実績が出来ている。	事業期間 終了時	2022年2月の全国こどもホスピスサミットでは、共催団体である横浜と協力してサミットの広報、資金調達（協賛金獲得）を行った。	2
3) 資金分配団体が主体となり、住民、企業、医療・福祉関係者の理解促進につながるテーマで広報啓発活動（シンポジウム、勉強	①勉強会やフォーラムへの参加者（個人、企業）の数・割合・多様性、	①増加し、多様化している。	事業期間 終了時	2022年2月14日に全国こどもホスピスサミット開催。 *参加人数：305名	2

<p>会、啓発活動など) 実施</p>			<p>*多様性(割合):医療(19.5%)、福祉(13.5%)、教育(11.3%)、支援団体(7.8%)、患者・家族・遺族(7.4%)、企業(5%)、メディア(3.5%)、行政(0.7%)、その他(31.2%)</p> <p>2022年3月25日、26日にこどもホスピス・小児緩和ケアセミナーを開催。</p> <p>*参加人数:63名</p> <p>*多様性(割合):医療(39.7%)、支援団体(9.5%)、福祉(7.9%)、患者・家族・遺族(7.9%)、教育(6.3%)、企業(3.2%)、メディア(3.2%)、その他(22.2%)</p>
---------------------	--	--	--

	②メディア露出 (記事や媒体)の 数・内容	②露出の頻度や内容などが充実し ている。	事業期間 終了時	2022年2月の全国こ どもホスピスサミット には把握できた範囲で メディア11社の申し 込みがあり、WEB媒体 (共同通信)や、新聞 (北海道新聞、西日本 新聞)、雑誌(メディカ ルクオール)、テレビ (NHK金5時)に取り 上げられた。	2
	③理解や支援に対 する関心度合・内 容(アンケート)	③意識調査などで理解や関心の向 上が確認できる。	事業期間 終了時	2022年2月14日のサ ミットおよび2022年3 月25日、26日のセミ ナーのアンケート結果 から、サミット・セミ ナー前後で理解や関心の 向上が確認できた。 *サミット参加前と比 較して理解が深まった と感じた参加者:そう 思う(82.0%)、ややそ う思う(16.4%)、どち	2

				らでもない (1.6%) *セミナー参加前と比較してこどもホスピスにおけるトータルケアの重要性の理解が深まったと感じた参加者：そう思う (79.8%)、ややそう思う (29.2%)	
	④企業連携など支援形態の事例	④支援形態が多様化し、企業連携などの幅が広がっている。(参入しやすくなっている)	事業期間 終了時	2022年2月14日のサミットでは協賛企業を募集し9社の支援を獲得。コロナ禍での開催となったため、イベントボランティアとしての企業連携には至らず。 参加企業1社から、今後の連携(こどもホスピス団体へのアーティスト派遣など)の提案があった。	2
4) 資金分配団体が主体となり、行政の関心とコミットメントを	行政への政策提言に向けた情報の共有(国	資金分配団体による情報収集・共有により、行政への説得力が増し	事業期間 終了時	現時点では、まだ実践できていない。	2

引き出すアドボカシー活動を展開	内外の研究、統計データなどの収集・提供)	たという肯定的な意見が得られる			
-----------------	----------------------	-----------------	--	--	--

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
2月11日全国こどもホスピスサミット開催。(報告書、アンケートまとめ添付)
3月26日、27日こどもホスピス・小児緩和ケアセミナー開催(アンケートまとめ添付)
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
2022年2月、3月のイベントでは、感染予防を考慮し、ハイブリッド開催(シンポジウム)やオンライン開催(講座)で実施した。

③ 広報に関する報告

シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している 広報制作物に表示している
報告書に表示している イベント実施時に表示している その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

広報

1. メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

・共同通信 WEB 版（全国子どもホスピスサミット）https://www.kyodo.co.jp/life/2021-12-08_3653747/

・2022年1月28日 NHK きん5時（全国に広がる取り組みについて言及。）

・2022年2月28日 西日本新聞 全国子どもホスピスサミット

・2022年3月23日 北海道新聞 全国子どもホスピスサミット

・メディカル クォール 2022年4月、5月号「第四回全国子どもホスピスサミットレポート④⑤」

・田村淳の News CLUB 2022年4月30日（横浜子どもホスピス田川代表へのインタビューの中で休眠預金の支援について言及）

・NHK 首都圏情報ネタドリ 2022年6月3日「ひとりひとりの命輝く場所 “横浜子どもホスピス”」（全国サミットについて放映）

・THE FORWARD（実業之日本社）Vol2～ 連載「愛と勇気とサムマナー」（休眠預金活用事業および全国サミットについて言及）

2. 広報制作物等

3. 報告書等

4. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)

内部監査を実施 外部監査を実施 実施する予定がない

→ 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

1. こどもホスピスサミット報告書



第4回全国こどもホスピスサミット 報告書2

2. アンケートまとめ



第4回全国こどもホスピスサミット・アンケート

3. こどもホスピス小児緩和ケアセミナー アンケートまとめ



こどもホスピス・小児緩和ケアセミナー・アンケート

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）